

# ヘリコプターで岩石を撤去

【新得】道道忠別清水線の工事現場（町屈足トムラウシ）で、ヘリコプターが活躍中だ。道路のり面から、崩落の危険がある岩石を撤去する際、現場環境が悪く、人力での運搬も困難なため、ヘリでまとめて運び出している。「土木工事でヘリを使うのはあまりない。全国的に珍しい工法」（宮坂建設工業）という。厳寒の山中での、ヘリを使った工事の様子を紹介する。（井上朋二）

臨時ヘリポートから飛行するヘリ（24日前10時半ごろ）

## 宮坂建設工業が道道工事で

# 崩れやすく現場環境悪い場所で

岩石を取り除く。

ひつした工事では一般的に斜面に鉄柱を立て、ワイヤを渡してロープウェー式に岩石を降ろす方法が取ら

れる。同現場では岩が風化して崩れやすく、斜度もきついため、リスクを考えた結果、ヘリを選択した。

高さ最大約170㍍、幅約230㍍、平均斜度40度のり面約4㌶の施工現場から、約100㌧の

結果、ヘリを選択した。

撤去する岩石は、あらかじめ人力で小さく割り「モッコ」と呼ばれるカーボンネットで包んでおく。ヘリには長さ約40㍍のワイヤを搭載。臨時の岩石置き場とのり面間の数百㍍を2、3分間で往復する。1回の運

搬で約1㌧の岩石を安全な場所へ移したまつた岩石はダンプカーで運び出す。独受注。工期は2006年9月6日から2007年3月15日まで。

## 道事業の同工事は、同社が約1億5000万円で単独受注。工期は2006年9月6日から2007年3月15日まで。

道道忠別清水線の道路のり面に向かうヘリ（24日前11時ごろ）=上。「モッコ」に包まれ、ヘリで運ばれた岩石の下



れるようにした。

撤去する岩石は、あらかじめ人力で小さく割り「モッコ」と呼ばれるカーボンネットで包んでおく。ヘリ

「送電線の資材運搬などではヘリは使うが、土木工事で使うのは全国的に珍しい」とする。宮坂建設工業の藤田恵一工事事務所長は、「道路には電力ケーブルもあるので、安全に施工を進めたい」と話している。